

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

二度にわたる「千葉地本再建」デッチ上げ策動を完全に粉碎!

日刊 動労千葉

80.7.6

No. 57

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二五八・九(公衆)電話二七二〇七

乗務員運用合理化粉碎、55・10ダイ改阻
止にむけ、全国の仲間と共に闘い抜こう!

この間、動労「本部」反動分子は、八月全国大会をのりきるために、なりふりかまわぬ動労千葉破壊「千葉地本再建」デッチ上げ策動を強めてきました。しかし、動労千葉は、全支部・全組合員の総決起をもって、六月二十八日、七月五日の二回にわたる「千葉地本再建」デッチ上げ策動を完全に粉碎しました。全国の動労組合員の皆さん! 動労千葉は、全組合員の団結を更に一層打ち固め、乗務員運用合理化・検修合理化粉碎、五五・一〇ダイ改阻止、国鉄三十五万人体制粉碎にむけ、国鉄当局・「本部」反動分子一体となった攻撃を粉碎しつつ断固闘い抜く決意です。

近づく全国大会にむけ「千葉地本再建」を焦る「本部」反動分子

動労「本部」反動分子は、八月全国大会が近づき、「千葉地本再建」策動が全く進まない中で、昨年と全く同じ「全国大会に七名が参加」などと報告することもできず、「再建支部」地本」のデッチ上げに必死となっています。

一年を経過した現在、裏切り分子「本部」派組合員の一人すらかき集めることが出来ない中で、去る六月二十八日と七月五日の二回にわたって全く同じ顔ぶれの裏切り分子に他局からの短期転勤者を合わせて「とにかく支部が出来た」として「再建津田沼」支部をデッチ上げようとしてきました。

「『再建津田沼支部』の結成を行なうので講習室を貸してくれ」と当局にお願いし、いやがる短期転勤者にムリヤリ年休を申込みさせたのです。

そして、「津田沼支部再建」を突破口に土屋幹などの裏切り分子を利用した「佐倉結成」をも策動してきました。

「千葉地本再建」策動を二度にわたって完全粉碎!

こうした「千葉地本再建」策動は、八〇春闘処分とあわせて「四・一五津田沼」を理由とした布施執行委員の解雇をはじめとする大量不当処分攻撃を最大限利用して一挙に動労千葉破壊を行なおうとする攻撃であります。しかし、われわれは、「再建」策動の反動性とそれに加担することの反労働者を津田沼・佐倉両支部を中心に連日わたる糾弾・追及行動を展開し、彼らの内部に「くさび」を打ち込み、彼らの策動に大きな打撃を与えました。

そして、「本部」反動分子が「津田沼支部再建」を策動した六月二十八日、七月五日の両日には、全支部から決起し、同時に三里塚反対同盟と支援共

闘会議の連帯した決起をもって「本部」反動分子の「再建」策動を完全に粉碎しました。彼らは、当局に講習室の使用を申込み「千名の動員で結成大会を開く」などといったふらしにいたにもかかわらず、津田沼電車区には、全く姿を見せず、三信ビルにとじこもっていたのです。

こうして「本部」反動分子の「千葉地本再建」策動は、その反動性と反労働性故の「自らの内部的事情」とわが動労千葉の団結力と正義の闘いの前に完全に粉碎されたのです。

乗務員運用合理化・検修合理化粉碎、55・10ダイ改阻止にむけ総決起しよう!

全国の動労組合員の皆さん! 「本部」反動分子は、「貨物安定宣言」路線として、今日、国鉄当局に全面的に屈服し、国鉄再建「三十五万人体制攻撃の最大の柱である乗務員運用合理化に率先協力しています。そして、この「本部」の反動的方針に真向から対決し、断固闘う方向を指し示す動労千葉に対しては、国鉄当局に厳正処分弾圧を要請するなど国鉄当局の先兵となり下っています。

全国の動労組合員の皆さん! 動労の名をもって、動労の戦闘的伝統をけがし、労働組合にあるまじき「運動」を行なっている「本部」反動分子を許さず、乗務員運用合理化・検修合理化粉碎、五五・一〇ダイ改阻止、国鉄三十五万人体制粉碎にむけ、全国・全職場から総決起しようではありませんか。



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!